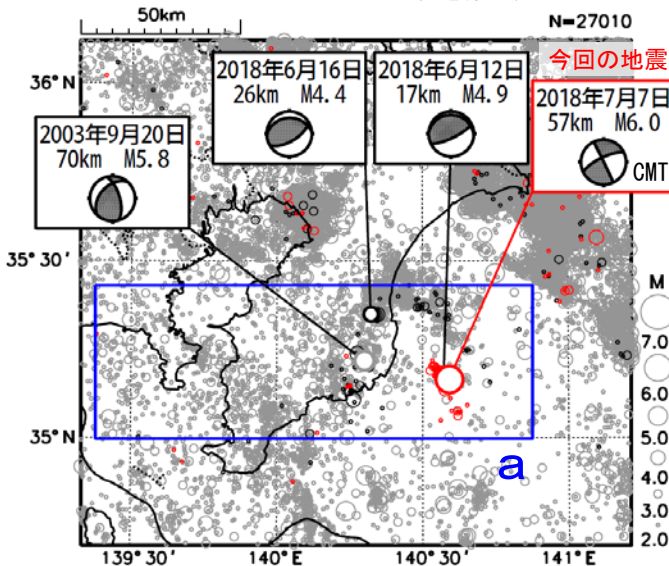


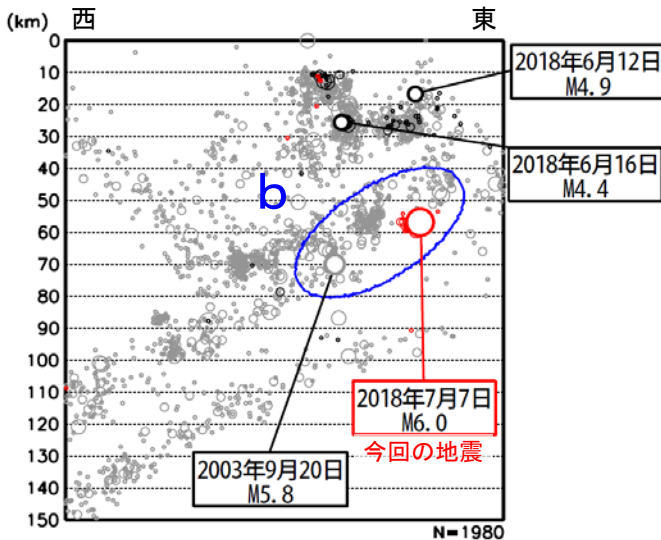
# 7月7日 千葉県東方沖の地震

## 震央分布図

(1997年10月1日～2018年7月31日、  
深さ0～150km、 $M \geq 2.0$ )  
2018年6月1日～7月6日の地震を濃く表示  
2018年7月7日以降の地震を赤く表示

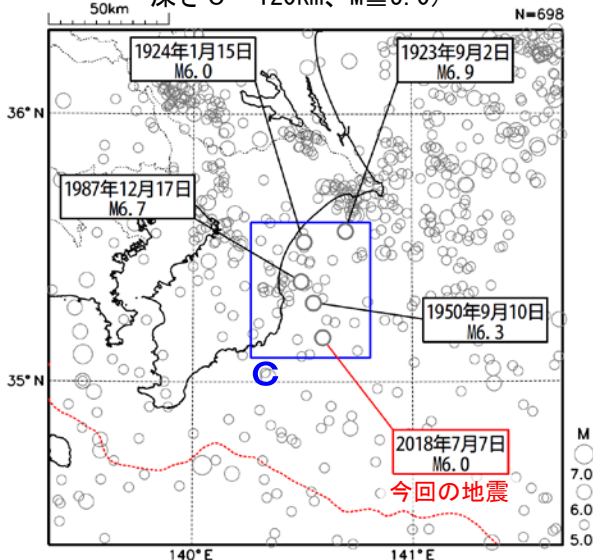


領域 a 内の断面図 (東西投影)



## 震央分布図

(1923年1月1日～2018年7月31日、  
深さ0～120km、 $M \geq 5.0$ )



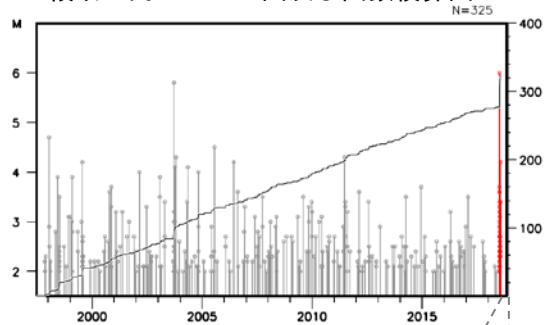
2018年7月7日20時23分に千葉県東方沖の深さ57kmで $M 6.0$ の地震(最大震度5弱)が発生した。この地震は、発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、太平洋プレート内部で発生した。

なお、今回の地震の震央付近では、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界におけるゆっくりすべりに伴い、6月3日からまとまった地震活動がみられ、6月12日に $M 4.9$ の地震(最大震度3)、同16日に $M 4.4$ の地震(最大震度4)が発生しているが、これらとは深さが30～40km程度異なっている。

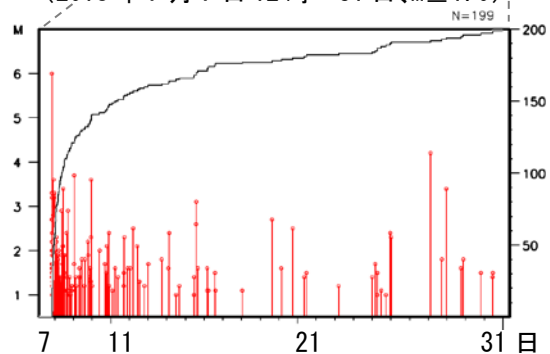
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、2003年9月20日に $M 5.8$ の地震(最大震度4)が発生し、負傷者8人の被害が生じた(総務省消防庁による)。

1923年以降の活動をみると、今回の震央付近(領域c)では、 $M 6.0$ 以上の地震が4回(今回の地震を除く)発生しており、このうち1987年12月17日にフィリピン海プレート内部で発生した千葉県東方沖の地震( $M 6.7$ 、最大震度5)では、死者2人、負傷者161人、住家全壊16棟、住家一部破損7万余棟などの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。

## 領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



(2018年7月7日12時～31日、 $M \geq 1.0$ )



## 領域 c 内の M-T 図

